

---

# 妄想女の最高なクリスマス

中山 拓也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妄想女の最高なクリスマス

### 【Nコード】

N3396B

### 【作者名】

中山 拓也

### 【あらすじ】

大晦日を迎える三十路の負け犬漫画家が恋をしたのは、コンビニでアルバイトしている高校一年生！絶対ありえない組み合わせだが、そんな事彼女には関係ない。そんな彼女が見た最高の奇跡。

**第一話：妄想女、恋をする（前書き）**

こんにちは、中山拓也です。

## 第一話：妄想女、恋をする

ジングルベル、ジングルベル、鈴があ鳴るう。

吹雪だわ…。ふふ、ホワイトクリスマス。

へっ？寒い。ならギュウってしてあげる。

暖かい？やだあ、もう。

部屋の中、レコード大賞を見ながら、美少年の顔写真が貼っている抱き枕で妄想デートをしまくってます。

そんな私の事を、人は負け犬と呼ぶ。

私の名は、仰木香奈。昨日で三十路に突入している。

今日は大晦日。部屋は散らかっている。明日が正月だなんてもう感じられない。

私はクリスマスもお正月も無い。

ふふふ。やばあい。ベタ惚れだあ。

私がもう行きつけとなっているコンビニに入っている新米のアルバイトくんが凄い可愛いの。

「お弁当チンしますか？」

だあって。

チンとか。もう死んじゃいますね。私のハートがチンとしちゃいますよ。

いやよいやよ。いやよチンしちゃいやあん。ハニーフラッシュ。みたいな感じだわ。

潤んだ目で『ギョウして』とか言われたら沸騰よ。沸騰。

よし、妄想デートするか。

私は妄想で現実から遠ざかる。だって、三十路で未だに結婚もデートも出来ず、合コンにも誘われない。そして漫画家という私に、彼氏なんか出来るはずもない。

そんな状態で、現実に立ち向かうなんてできない。

発売した短編集は、口コミで広がり、100万部を発行。来秋にはアニメ化する。

夢の印税生活なんだけど。

恋愛では、私は完璧に落ちこぼれた。

ビールをグラスに注ぐ。

シュワシュワとグラス内で暴れる泡と、すぐ散る泡がある。

私はすぐ散る泡。存在さえも認めてもらえないまま、散る。まる

で、私の人生の全てを悟った感じだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3396b/>

---

妄想女の最高なクリスマス

2010年10月9日06時25分発行